

大学でビジネス日本語を導入する際のいくつかの工夫

工夫のポイント

- ▶ 文化とコミュニケーションの問題として考える
 - 日本語力が高なくてもなんとかできる
- ▶ 学習活動を工夫する
 - ビジネスの内容を扱わなくてもビジネス日本語に
- ▶ PDCAサイクルで考える
 - P: Plan
 - D: Do
 - C: Check
 - A: Act

「ほう・れん・そう」問題

- ▶ 課長: ワンさん, ちょっと。
- ▶ ワン: はい, 課長。
- ▶ 課長: この資料, 明日の会議で使うから, 50部印刷し
といてほしいんだけど。
- ▶ ワン: 承知いたしました。明日までにこの資料を50部
印刷しておけばよろしいですね。
- ▶ 課長: うん, よろしく。
- ▶ ワン: かしこまりました。

考えられる確認事項

- ▶ 印刷かコピーか
- ▶ カラーか白黒か
- ▶ 両面か片面か
- ▶ ページ連写するか
- ▶ ヘッダーやフッターをつけるか
- ▶ ホッチキス止めするか
- ▶ 机上配布かどうか
- ▶ 何時までに印刷を完了しておくか

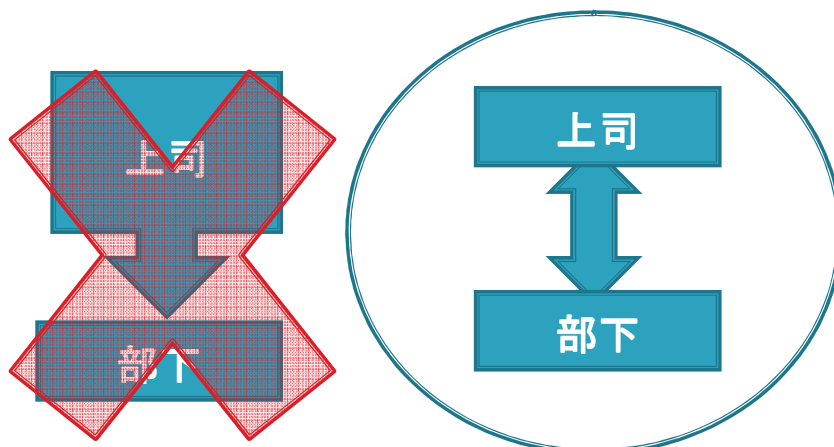
「ほう・れん・そう」問題～初級編

- ▶ 課長: ワンさん, ちょっと。
- ▶ ワン: はい, 課長。
- ▶ 課長: この資料, 明日の会議で使うから, 50部印刷し
といてほしいんだけど。
- ▶ ワン: ちょとまって(メモを持ってくる)
これ50?
- ▶ 課長: うん50ね
- ▶ ワン: どうやってコピーですか。
- ▶ 課長: モノクロでいいよ
- ▶ ワン: も一度おねがいします
- ▶ 課長: カラーじゃない
- ▶ ワン: カラーじゃないですね。大きさ, ホッチキス, どう
しますか。

(C)2012 KAMIYOSHI Uichi All
Rights Reserved. 2012/2/17

24

日本企業のコミュニケーション



不十分な指示を解きほぐして
協働で理解していく

(C)2012 KAMIYOSHI Uichi All
Rights Reserved. 2012/2/17

25

活動の工夫

- ▶ ビジネスに関連するコンテンツを扱う
 - 雑誌記事を持ってくる
 - 企業関係者からの話を聞く



学校的学習活動の中で行われることが多い

「学校的」とは

1. 教える人→教わる人という知識の流れ
2. 学習者の自律性と責任
3. 真正性、多様性の低さと変化の少なさ
4. 学んでいることと社会のつながりが非明示的
5. 時間の感覚



プロジェクト型で解決可能

プロジェクト型を行う際の工夫

- ▶ メモを取る、確認する
- ▶ 報告、共有する
- ▶ 時間管理を徹底する
- ▶ 工程表の作成と工程管理を試みる
- ▶ コストを意識する
- ▶ ファイリングやフォルダ管理をする

◆ PDCAサイクル◆

- 実現可能な計画
- 実施したことの評価・内省
- 経験を踏まえた改善
- 新たな課題の発見

